

福島ユナイテッドFCの選手と共に

3/2

◀ドリブルのトレーニング等、楽しみながらトレーニング

「東北魂を持つJリーグの選手会」による「ふくしま子ども応援団」と共同で、福島ユナイテッドFCが、トップ全選手によるサッカー教室を開催しました。会場は飯館中学校体育館。飯館中と飯野中のサッカー部員合わせて約40人が参加し、JFLで活躍する選手とトレーニングやミニゲームを楽しみました。

◀混合チームの対抗戦でミニゲーム

◀気さくな選手たちと和やかな雰囲気

◀「お互いに頑張ろう」最後に全員が握手

3/10「おがえり！」愛犬と家族がひとときの再会

村民の愛犬を預かる岐阜県のNPO法人「日本動物介護センター」が、日帰りで役場本庁を訪れ、21匹が飼い主家族と再会しました。

震災から2年を迎えるのに合わせた里帰り。迎えた家族は名前を呼んで抱いたり、近隣を散歩したりして、約3時間を愛犬と一緒に過ごしました。

▶再会を喜び合う愛犬と家族



2/27

5年生がタグラグビーにチャレンジ！



▲ルールを覚えながらチーム戦も楽しめました

「タグラグビー」はラグビーを模したスポーツ。タックルの代わりに腰に付けた「タグ（札）」を取るの、子どもでも安全に楽しめます。企業ラグビーチーム「パナソニックワイルドナイツ」から用具一式の寄贈を受けた草野・飯樋・白石小学校に講師が訪れて、5年生にタグラグビーを紹介しました。

豪日交流基金の理事長が幼稚園を訪問

2/28

幼稚園の遊具や移動図書館車の寄贈、中学生のオーストラリア招待など、村への支援を続ける豪日交流基金のマレー・マクレーン理事長が、絵本のプレゼントを携えて草野・飯樋幼稚園を訪れました。移動図書館車「こあら号」も園を訪れ、園児はマクレーンさんと一緒に読み聞かせも楽しめました。

園児と絵本を楽しむマクレーンさん▶



2/28

「いやしの宿いいたて」のひな飾り

「いやしの宿いいたて」のロビーにひな人形が飾られ、訪れた人の目を楽しませました。このひな人形は、ひな祭りを前に、東京都の音楽会社「ユメミノ音楽村」から村民へと贈られたものです。贈り主の思いやりと春の訪れを感じながら、ひな人形の周りには自然に人が集まり笑顔を交わしていました。

◀訪れた人をフロント横で迎える5段飾りのひな人形

